

市内事業者の皆様へ

夏季のVOC¹排出削減に御協力をお願いします！

1 VOC (揮発性有機化合物) とは塗料・インキ・洗浄剂等、溶剤に含まれる成分です

夏場は気温が高く、 特に有機溶剤が蒸発しやすい環境です。

相模原市では、夏季(6~9月)におけるVOC対策を強化して実施しています。
こまめなフタ閉め等、下記の基本的な対策から今一度見直してください。御協力よろしくお願いします。

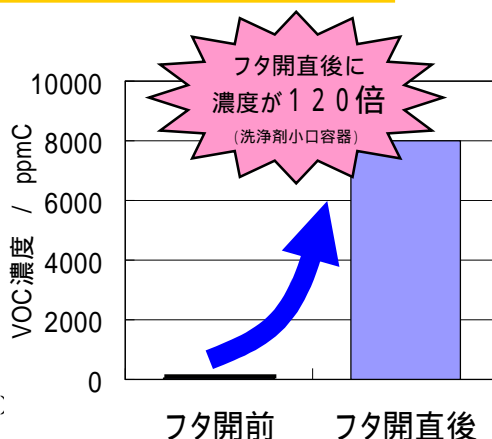
メリット ムダな蒸発を防いで**原材料費削減**



(赤外線センサーでフタ開放時の一斗缶撮影)

フタを開放しているだけで溶剤は蒸発しています！

必要なとき以外はフタをしっかり閉めましょう。



洗浄槽のフタをすると蒸発量が1/2~1/4程度まで減ります。
(東京都VOC対策ガイド(工場内編)より)



フタ開放で8時間に60gの溶剤が蒸発します。
(日本印刷産業連合会 印刷産業におけるVOC排出抑制自主的取組推進マニュアルより)

メリット においが減ります！**作業環境の改善**

廃棄物容器の密閉

溶剤の染み込んだ廃棄物は常に密閉しましょう。

「VOC拡散防止のため必ずフタをすること」等の張り紙をすることでより効果的です。



低VOC製品を選びましょう

印刷

低VOC洗浄剤

印刷業界の制度であるGP資機材認定制度では、低VOC洗浄剂等環境に配慮した資機材を登録しています。



塗装

ハイソリッド塗料

既存設備の大幅な変更をせず、VOC排出量を3~6割程度まで抑制できます。

金属等脱脂洗浄

水系洗浄剤

めっき品質に必要な部品洗浄度の基準を見直し、水系洗浄剤へ代替することで、VOC排出量を5割以上抑制できます。

なぜ、VOC対策が必要なのか？

VOC(有機溶剤など)は、有害な光化学オキシダントの生成原因の一つです。



光化学オキシダントの生成



VOCには、塗料やインキに使われるトルエン、金属や機器の洗浄に使われるトリクレン(トリクロロエチレン)、塩化メチレン(ジクロロメタン)等があります。VOCは蒸発しやすく、大気に出ていくとNO_xとともに太陽光を受けて光化学オキシダントを生成します。光化学オキシダントは、目や喉への刺激等の人的被害だけでなく、農作物等の植物被害も引き起こします。

VOCは他に浮遊粒子状物質(SPM)、微小粒子状物質(PM2.5)の生成原因にもなります。

なぜ、夏季の対策が必要なのか？

光化学スモッグ注意報²は夏季に多く発令されます。

² 光化学オキシダントが高濃度(120 ppb)となり、その継続が見込まれる場合に発令

光化学スモッグ注意報 月別発令状況 (平成21~30年 平均値)



光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件は、最高気温が25以上、日照があること、東京湾や相模湾から海風の進入があること、等があります。これらの条件が揃う、夏季にVOCの排出を抑えることは特に重要です。

なぜ、近隣都県市と連携した取組が必要なのか？

夏季における光化学オキシダントは、

広い範囲で高濃度になります。

高濃度の光化学オキシダントが広い範囲で発生することから、九都県市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市)で連携して夏季のVOC排出削減に取り組めます。